

第3回池田町義務教育のあり方検討委員会 会議録（概要）

日 時	令和7年1月27日（月） 午後6時～午後7時35分
場 所	池田町役場2階 大会議室
出席委員	委員長 池田園小運営協議会代表 梅牧 力 副委員長 高瀬中運営協議会代表 宮本 和紀 会染園小運営協議会代表 櫻井 康人 池田小学校 PTA 代表 皆川 瑞穂、高瀬中学校 PTA 代表 藤井 周二 池田保育園保護者代表 矢口 正紘、 会染保育園保護者代表 下里 純平 自治会協議会長 徳嵩 洋行、自治会協議会副会長 片瀬 善昭 池田小学校長 工藤 美恵 会染小学校長 葭本 直樹、高瀬中学校長 原 毅 識見を有する者 村瀬 公胤、丸山 史子 公募による者 佐藤 豊、平林 利香子、丸山 尚子
欠席委員	会染小学校 PTA 代表 山本 一喜 識見を有する者 下川 威、池田町社会福祉協議会長 中嶋 一光
事務局	教育長 山崎 晃、学校保育課長 井口 博貴 学校保育課長補佐兼学校保育係長 塩川 亜弥子
書記	学校保育課長補佐兼学校保育係長
傍 聴	7人

1 開会

学校保育課長

2 委員長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 今年度の学校評価について

小中学校3校の校長より、それぞれ児童生徒、保護者、教職員対象に行ったアンケートをもとに、考察、今後の課題も含め評価として発表を行った。

（丸山尚子委員）学校評価アンケート結果は、それぞれ回答率はどの位か。

（各校長より）池田小 保護者 85%、教員 100%、児童 100%

会染小 保護者 47.7%、教員 100%、児童 100%

高瀬中 保護者約 70%、教員 100%、生徒 80～85%

（丸山尚子委員）会染小の保護者の回答率が 50%未満で残念である。私も会染小保護者であるが、今後回答率が上がるよう取り組みをお願いしたい。

(櫻井委員) 中学校の『目指す生徒像』の一つに、「地域の自然、文化、人などに関心を持ち、積極的に関わる」とあるが、「人に関心を持つ」とはどのような事を指すのか。

(高瀬中校長) 地域の素材とか、そういう意味で捉えて頂ければ良いと思う。

地域には自営業の方、会社経営者及び移住して来られた方などいろいろな方がある。そのような方々と積極的に関わしましょう、という意味である。

(平林委員)

池田小は保護者の回答率が高いが、どのようにアンケートをとったのか、何故高いのか知りたい。

(池田小校長) アンケートの方法はForms（フォームス）で行っている。3年前はあまり高くなく、昨年度回答率が上がったので、感謝の気持ちを強調して伝えた。

そのためか、今年度は更に上がった。

(皆川委員) だいたい保護者と児童に同じ質問がされているので、回答を比較して気づいた傾向がある。宿題の評価が、児童生徒が高めで保護者が低くなっている。

中学生もそうであるが、何処まで自己評価が出来ていて、周りを気にせずアンケートに答えているか、がまず一点。また保護者は子どもに対し過少評価や多大な期待を寄せているのか、そのような結果になっているという点である。

町の教育大綱は、子ども達が自分のレベルに合わせ、自分の歩調で勉強していくのが望ましいということを掲げていると思うが、それができていれば子どもが自分自身でそれを評価して、親がそこに過大もしくは過少な評価を与える必要はなく、そういう部分で大人が、子どもが学ぶということに理解が追い付いていないのかと感じる。

学校と情報共有が図れていないのか、という点で、全部同じよう数字だったので課題かなと思う。保護者との合意形成の部分は、今後町というか学校と保護者との間で埋めていく必要があるかと思う。感想である。

5 協議事項

(1) 保護者・児童生徒・職員アンケートについて

教育長より、第2回委員会に出した案に対しご意見を頂いた点について、部会で検討し、改正案を示したこと。当初の案と変更した部分について説明がされた。

(佐藤委員) 補足であるが、部会の少人数でも案をまとめるのに時間がかかった。もっとこういう質問を入れた方が良いのでは、という意見もあったが、アンケートは今回限りではなく、その結果を踏まえてもう一度アンケートを行う、という考えてまとめた案であるのでご承知頂きたい。

(丸山史子委員) 児童生徒アンケートについて、対象は小学校3年生以上としているが、その根拠があれば教えて欲しい。何故かという、現在池田小も会染小もほとんど1学級である中、1学年あたりの学級数について幾つが良いか、という質問に対し、何をもとに判断するのか気になったからである。中学生であれば状況がわ

かり回答できると思うが、小学生3年生にどのように説明するのかと心配である。(教育長) 部会の中でも1年生、2年生にも聞きたいところであるが、無理かなという意見が出された。3年生位であれば、客観的見方もできるのではないかと考え3年生にした。

しかし、今のご意見をお聞きすると、確かにと思うところもある。

(池田小校長) 池田小も会染小も2学級ある学年があるので、2学級あれば3年生になる時にクラス替えをするのだ、違う友達と一緒にいるのだということを、3年生位になれば感覚的にわかる。そういうことの根拠に基づいていると考えている。

(会染小校長) 会染小でも2クラスになると1学級あたりの人数が減り、1クラスでは多くなる。そういう様子を子ども達は見ているので、感覚的にわかるのではないかと思う。

(丸山史子委員) ぜひ子ども達の生の声を聞いて欲しいと思う。やはりそのクラスに在籍していれば、そのクラスが一番居心地が良いと思うのではないかと。親しい友達もいるし。そういうクラスで一生懸命自己発見をして日々の生活を繰り返している。

経験が無いところで2クラスが良いか、もっと多いクラスが良いか、と聞かれても躊躇してしまうのではないかと。

(皆川委員) 私もその懸念に対し同じように考えるところがある。3年生対象ではこの内容で本当に求めたい数字が得られるのか。5、6年生以上であればギリギリ理解できると思う。

4年生ぐらいまではクラスの人数が多い方があなたは好きかどうかとか少ない方が楽と感じるかとか、この運営に直接関わりそうな聞き方じゃなくて、もうちょっと子どもがその中にいてどう感じるかどうかというような聞き方をした方がより子どもも答えやすいし、こっちも得たい答えに近づくんじゃないかと感じる。3年生で自分の子がこれを答えていることを想像するとちょっと可哀想な気持ちになる。次回の参考にしていただければと思う。

⇒ 梅牧会長より、担任の先生には子どもたちが調査したときにどういう印象を持ったかよく聞いておいていただくこと。子ども達に影響がないように小学校の校長先生方が担任を通してフォローして頂くこと。

アンケート調査結果、データ上も課題があるとすれば、次回のアンケートについて部会で検討させて頂くということで進めさせて頂きたいと話があり、了解された。

(会染小校長) アンケートは、前文に書かれているように望ましい学校環境を作っていくという意味でのアンケートである。

先ほど、これを作ったときの経緯を話していただき、本当によく考えられて作られていると私も思うが、ここに付け加えて、「望ましい学校環境を作っていくためにアンケートを今後も実施していきます」とか一文入れていただくと良いの

ではないか。

そうでないと、今回数について聞いているので、人数だけで学校が決まると思われるのではないかと危惧されるためである。

(2) 第2回検討委員会でのグループ協議の意見について

現在の小中学校のよさと今後の課題でどんな事が出されていたか、教育長がまとめた資料を説明

(3) 今後の課題に対しての意見交換

会長より、グループ協議の方法について説明。

第2回検討委員会でのグループ協議で出された課題について、各グループでピックアップして対応策を検討して頂く旨を説明。

以上のように協議を進めた後違うグループの模造紙を見合った。

教育長から次の点について話しがあった。

アンケートについて、小学校3年生を対象にすることについて危惧する意見も頂いたが、先生方の協力を得ながらきちんとアンケートが取れるようにしたい。また細かい文言については事務局にお任せをいただきたい。

次回について、グループで討議していただいたことと、アンケート結果を加味しながら、今度は全体で協議をしたいと思っている。

6 その他

学校保育課長補佐より 次回の会議の日程等について説明がされた。

7 閉会